

《課題名》

児童青年精神医療における、治療経過に影響を与える因子の探索

《研究対象者》

2018年11月～2024年3月に琵琶湖病院思春期青年期外来を初診した10歳～17歳の患者さま

研究協力をお願い

琵琶湖病院において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の琵琶湖病院で既に保有している臨床情報を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：児童青年精神医療における、治療経過に影響を与える因子の探索

研究期間：2018年11月1日～2025年3月31日

研究機関・実施責任者：琵琶湖病院 思春期青年期治療部 稲垣貴彦

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

【背景】子どもの心の健康を保つ上で、スティグマ（偏見）や子ども自身の逆境的体験、発症から治療をはじめるとまでにかかった期間（精神病未治療期間：DUI）、親の精神的健康状態が治療経過に影響を与えていることが知られています。しかしながら、これらを包括的に評価した研究はありません。

【目的】治療結果とスティグマ・逆境的体験・DUI・親の精神的健康状態の関連を明らかにします。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

以下に示した情報を統計解析いたします。

①診察の時に得られる以下の情報：性別、月齢、診断、重症度、精神病未治療期間

②診察の前後で行なわれる以下の検査結果（いずれも質問紙によるものです）

本人 …生活の質（QOL：PedsQL 本人評価用）、精神症状とその程度（GHQ-30）、逆境的体験（ACE 質問紙）、本人の治療満足度（CSQ-8）

保護者…本人の生活の質（QOL：PedsQL、保護者評価用）、保護者のスティグマ（DDS）、保護者の精神的健康度（K6）、保護者の精神医療に対する敵意、保護者の治療満足度（CSQ-8）

（4）個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

医療法人明和会琵琶湖病院 思春期青年期治療部 稲垣貴彦

住所：520-0113 滋賀県大津市坂本1-8-5

電話番号：077-578-2023

メールアドレス：kerosuke.biwakoATgmail.com ATを@に置き換えて送信してください。